

GREEN ニュース

行動する
環境アドバイザーの会報

第63号

環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹
平成 27 年 10 月発行

♪フックリ、コロン、コロリンコンッ♪

写真のハート型の種は、群馬県のレッドデータブックに掲載されている植物「コイヌガラシ(準絶滅危惧)」のもの。それぞれがとっても味わい深いオリジナルなハート型をしておりますでしょ？暖かなだいたい色の一粒一粒が、まるで、私たち環境アドバイザーの一人ひとりみたい！と感じ、投稿させていただきました。

秋は実りの季節。春や夏を経験し、私たち一人ひとりに、環境に対する想いや体験がぎっしり詰まった種が育っていることと想像しています。みんなでその種の収穫を喜び合って、シェアして、育てあう機会が多くなると素敵ですね。沢山のハートの種と出会えることを楽しみにしています。



群馬県環境アドバイザーの動き

(平成 27 年 10 月 20 日現在)新規登録 11 名

第 10 期(登録期間:平成 27 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)です。新規登録者を含め平成 27 年 10 月 20 日現在、男 161 名女 64 名、計 225 名です。

自然環境部会 52 名 温暖化・エネルギー部会 34 名

ごみ部会 33 名 広報委員会 16 名が登録し活動されています。

目次(執筆者)

表紙画像・文 高橋健郎 氏(太田市)

P2 環境政策課

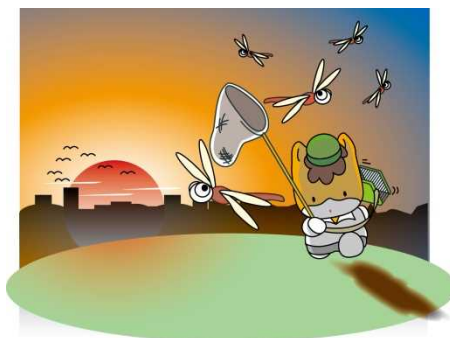
P3 須永代表、原田副代表から

P4 吉澤、野呂副代表から

P5 温・エネ、自然環境部会から

P6 ごみ部会、広報委員会から

P7～P12 地域のイベント情報



マイバッグ運動に参加しませんか？

今年度はマイバッグ等の利用促進を中心とした店頭啓発活動について、平成27年10月から平成28年3月にかけて実施いたしますので、是非ご参加をお願いします！！

詳細については9月の定例文で送付した文書をご確認ください。
ホームページにも掲載してます。

・マイバッグ運動の展開について

平成27年6月15日に開催された第3回群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会総会で、須永代表と吉澤副代表に次の様な発言をいただきましたので、事務局では各地域での取組を期待しております。

「昨年度までは、様々な地域で単発的に店頭啓発を実施しましたが、店舗を絞って、一定期間集中的に啓発活動を実施するとより効果的です。」

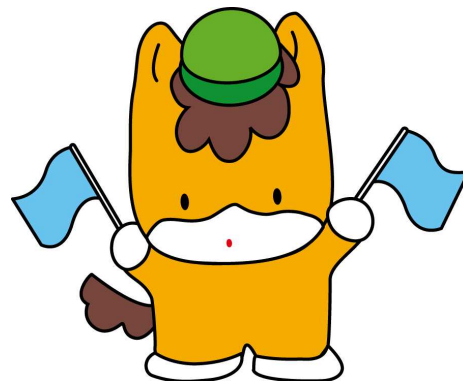
すでにレジ袋を有料化している店舗では、マイバッグの持参率が8割程度まで伸びている。一方、ドラッグストアなどの日用品を販売する店舗では、マイバッグの持参率が10%～20%と低い水準であるため、今年度はドラッグストア等の日用品を販売する店舗にも働きかけていく必要がありますね。」

・「環境にやさしい買い物スタイル」協力店も募集しています！

この協議会では、スーパーをはじめとして 351 店舗に協力店の登録を受け、環境に優しい取組を広めるため、更に募集しています。

ご近所や地域に「レジ袋の削減」をはじめ、簡易包装の励行や容器包装の店頭回収などの環境に配慮した取組を行っている店舗がありましたら、ぜひ協力店の登録をお願いしてください。

群馬県環境アドバイザー事務局担当：松原
(マイバッグ運動受付担当：横田)
電 話：027-226-2827
FAX：027-243-7702
Email：ecosusumu@pref.gunma.lg.jp



第10期にあたり

環境アドバイザー連絡協議会 代表 須永 徹

前期に引き続き代表を務めさせて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今期は、前期よりの課題となっている環境アドバイザーの若いメンバーの拡充を図って参りたいと存じます。そのための企業や大学等への訪問によるお願いや各種イベント等における勧誘活動を強化していきたいと思います。また、メンバー登録されている皆様の部会への参画も一層進めたいと思いますので、是非興味のある部会へのご参加をお願い致します。

さて、環境アドバイザーは、県の環境施策と協調しながら県民として地域の活動の主体となっており、リーダーシップを発揮して頂くことが重要です。地球温暖化防止活動や地域の自然環境保護、ごみの減量化等々環境問題に関する課題は益々大きく多岐に亘っております。環境アドバイザー一人一人の力は勿論のこと、同じ目的を持って活動しているところとの協働も必要です。

私達が、環境アドバイザーに登録をしたということは、高い環境意識を持って参加したことの表れであったはずですが、今期はその志を具体的な活動への参加という形で発揮し、群馬県の環境問題がより改善されるように頑張ってお参りしましょう。

第10期の副代表に就任して（お互いの活動を知り、参加する）

環境アドバイザー連絡協議会 副代表 原田 邦昭

県下各地区から環境に興味、関心を持っている300人近い人がアドバイザー登録され各地にいらっしゃるが、何をすればよいのか？また何処に聞けばよいのか？が解らない方も多いかと存じます。

この問題を少しでも解消するためにはどうしたらよいのか？県の環境政策課や廃棄物・リサイクル課とも連絡を密にして、自分たちの余暇時間に身近な場所で環境活動に参加できるような方策を今期は探ってみようと思っています。

その1つの方法としてこの会には3つの部会と1つの委員会があります。この部会を今までは登録した人を中心に専門部会として活動して参りました。現在は会員の高齢化や登録人数の減少もあり、各部会が活発に活動してない現状もあります。

これからは部会同志の連携をも密にし、各部会の年間計画、月間計画をお互いが知り合い、各自が自分の部会に偏らず、色々なところに参加出来るように工夫してゆくべきかと思っています。また、各地区毎に活動されている内容を知らせ、その地区でない方にも自由に参加できるようにして門戸を開いてゆきたいと思っています。

その為にも、役員と幹事は地区を育て、その中にも積極的に参加していき、広報委員会では記事をもろうだけでなく、取材もし、地区の報告をも掌握し、県下全域の環境アドバイザーが楽しんで活動できる連絡協議会を育てなくてはならないと思います。

活動に拡がりを---「地球温暖化－被害者と加害者」

環境アドバイザー連絡協議会 副代表 吉澤 敏則

このたび、前期に引き続き環境アドバイザー連絡協議会第10期の副代表を務めさせていただくことになりました。前期は協議会全体及び専門部会のごみ部会の企画・運営に携わってきましたが、今期は時間の許す限り3つの専門部会と広報委員会の活動、アドバイザーが係わる地域のイベントに参加して、微力ながらアドバイザーの皆さんのニーズの把握と活動の支援を行いたいと思います。

2014年の世界の平均気温が観測史上最も高かったと発表した世界気象機関(WMO)は人間の活動に由来する温暖化ガスの大気中濃度が上昇する限り、「地球温暖化は今後も続くだろう」と警告しています。近年世界各地で豪雨や干ばつなど温暖化が原因と指摘される異常気象が頻発しており、日本でも昨年2月、関東甲信越を襲った『平成26年豪雪』や8月、広島市の土砂災害を引き起こした『平成26年8月豪雨』、先月の『平成27年関東・東北豪雨』は記憶に新しいところです。災害に遭われた方は温暖化の被害者ですが、加害者は温暖化を引き起こした生活をしている私たちです。また、私たちもいつ被害者になるかわかりません。

地球温暖化が私たちの生活に深刻な影響を与えていることを再認識し、個人、地域の活動から県下のアドバイザーとの交流による県全体の活動や他地区の活動にも眼を向けて活動に拡がりを持たせ、“待ったなし”の環境問題、地球温暖化対策(啓発活動と実践)に共に取り組みましょう。

環境アドバイザーのひとりとして・・・

環境アドバイザー連絡協議会 副代表 野呂 久子

此の度、環境アドバイザーの役員、それも副代表という大役を担わせて頂くことになりました野呂久子です。

東京からこの群馬に移り住んで5年になります。空気も野菜も水も美味しいこの群馬、のんびり暮らそうと思っておりましたところ、・・・この地の日々のゴミの出し方等々が気になり始め、たまたま東京でリサイクルの審議委員もしておりましたので、群馬県の現状を知りたく県のエコカレッジを受講しました。修了後環境アドバイザーに登録させて頂きその後、地球温暖化防止活動推進員での活動や出前講座等々大変貴重な経験を積ませていただいております。

とは言いましても、まだまだ知識も経験も浅い私ですので、役員を担うのはとても恥ずかしい限りですが、諸先輩の方々のご指導を受けながら何ができるか手探りの中で何かお役に立てばと思っております。

思い返しますと、今年の夏の異常な猛暑又大雨による河川の氾濫等々は、皆様ご承知のとおり地球温暖化現象の一つと言われております。年々頻度も増していて、将来を託す子や孫たちの為にも環境アドバイザーのひとりとして真剣に考えて行かなければと思うこの頃の私です。

温暖化・エネルギー部会

「第10期 温暖化・エネルギー部会開催にあたり・・・」

温暖化・エネルギー部会 部会長 加藤幸輝

皆様、こんにちは。環境アドバイザーの登録更新の今年度、先日、部会長に選任されました、高崎在住の加藤幸輝でございます。

さて、昨今の地球温暖化への気候変動はかなり、かなり影響を与えているように思えます。例えば、国内での予想を超えた雨量、フランス、アメリカでの河川の氾濫、50mを超える台風による風速、ハリケーンなど、従来なかった大被害を世界にもたらしております。このような気候変動に今後どのように対応を取ってゆくのか、また対策してゆくのか、真剣に考えていくことが必要だと思われます。

さて、温暖化・エネルギー部会は、前期、田口前部会長のもと、様々な活動を実施してきました。今期はそれを踏まえ、さらに進めていく活動を考えております。具体的には、

1. 部会員相互の環境知識の向上のための研究、特にエネルギーシフトについて
2. 他アドバイザー部会、他環境団体との協同活動の実施
3. 地域環境啓発活動への参加、特に小学校児童への身近なエネルギー（小量発電）の実験等を3つの柱とした活動を考えております。

また、一年目は問題提起、調査研究、二年目はさらに掘り下げ、ソリューションの提起、三年目は提案策の作成等々実施可能ならしめるべく、今後のスケジュールを早急に作成してゆきたいと思っております。

温暖化、エネルギー問題は非常に幅広く、また長期になります。その脱温暖化の手助けとして身近なソリューションを考えてゆきたいと思っております。

自然環境部会

自然環境部会の活動とは

自然環境部会 部会長 田中和夫

環境アドバイザー第10期発足に伴い新たに部会長に選任されました。

飯塚紘一氏、宮崎亮二氏に続き三代目となります。

自然環境保護（保全）というのはテーマが大き過ぎますが、「行動するアドバイザー」として地に足をつけた活動をしたいという事で、高山村の共有林の下草刈りや広葉樹の植林などの作業を行ってきました。現地との調整がつけば再開したいと考えています。また、自己研鑽のための研修会なども随時実施してゆきたいと思っております。

前回の例会で「会議室で観念的に考えるより人がやっている活動の実態を知ろう」という事で各地区での実践活動を紹介しあいました。これを基にイベント実施の時期を部会で把握して各会員、場合によってはアドバイザー全員に知らせ、見学－協力－という過程を通じて共感や問題点を考えることで自分の地域での活動の起爆剤にできれば、と考えています。

ごみ部会

第10期に思うこと

ごみ部会 部会長 山田一朗

ごみ部会長としての第10期の抱負を問われ、改めて考えてみた。ごみ部会は、本当に必要なのだろうか。その存在意義は、あるのだろうか。例えば部会長は、私でなく他の人であれば、もっと違う切り口や方向性・方法論もある訳で、その方がずっと良いかも知れないのだ。マナー化を避けるためにも、同じ人があまり長くやらない方が良いのではないかと思う。また、ごみ部会と言う名称はどうだろうか。単純明快でこれ以上の名称はないが、ごみと言う名詞にこだわることなく考えてゆきたいと思う。

群馬県民一人当たりの年間ごみ排出量は、ワースト4で減ってはいるが、相変わらず底辺を彷徨っている状態だ。そして群馬県民の中に、この現状すら知らない人が、大勢いることに驚いている。レジ袋無料の廃止も増えてはきたが、まだまだ。不法投棄も大きな問題だ。ごみ部会の登録者も出席者も低迷している。やるべきことは山積している。嘆いてばかりはいられない。

行政と協働して運動を盛り上げる。ごみ減量の行動を広げてゆくことが、ごみに対する県民意識を変えることに繋がると考えている。『みんなのごみ減量フォーラム』を成功させ、ワーストからの脱却を目指すことも、その一つと思っている。そのためにも、ごみ部会を緩く楽しく開かれた部会にして、誰でも参加しやすい部会にしたいと心から思っている。

広報委員会

「情報共有！みんなで作るグリーンニュース」

環境アドバイザー連絡協議会 副代表 吉澤 敏則

第10期の広報委員会は現在委員長不在で、当面は、代表、副代表主導により、運営していきます。

広報委員会の主たる取り組みである「グリーンニュース」の作成・発行は、環境サポートセンターの協力を得て、今までとおり、年4回行います。そのグリーンニュースは環境アドバイザーの皆さんの情報共有の場としたいと思います。第1回の広報委員会であげられた具体的な項目は、①部会活動状況の紹介、②アドバイザー皆さんが関わる地域活動状況（活動実施結果と計画）の紹介を、③最新の環境問題の提供等です。特に、②の地域活動情報の紹介は、各地域で活動しているアドバイザーの皆さんから積極的に情報を提供していただき、活動の横展開とアドバイザーの活動の広がり、連携強化を図りたいと考えます。また、③の最新の環境問題情報についてもお寄せいただきたいと思います。

「みんなで作るグリーンニュース」、皆さんの積極的な情報提供をお願いします。

地域のイベント情報〔1〕

環境アドバイザーが関わる県内各地のイベント情報です。今後も随時掲載しますので、皆さんからの情報を広報委員会までお知らせください。

県内全域

I 平成 27 年 4 月～9 月までの実施済のイベント

(1) 群馬県環境フェスティバル

10月3日（土）、第17回群馬県環境フェスティバルが高崎駅前のヤマダ電機 LABI I を会場として開催されました。

環境アドバイザーも昨年に引き続き、4階に県環境政策課の隣に一つのブースを出展しました。

出展内容は、ごみ減量化に向けて、①台所の流し台で使う水切りグッズの紹介、②一般ごみに関するデータの展示、③古紙回収時に古紙を束ねる紙ひもの説明、配付などを行いました。また、新規環境アドバイザーの募集活動を合わせて行いました。



環境フェスティバル出店ブース

太田地区 (太田市在住の西村さん、須永さんからの情報です)

I. 平成 27 年 4 月～9 月までの実施済のイベント

(1) 身近な水環境の全国一斉調査

- ①主催者 : 全国水環境マップ実行委員会
- ②開催月日 : 6月13日（土）
- ③会場 : 新田地域の湧水地と太田市内の河川
- ④イベント内容 : 全国一斉に同一な手法で河川等の水環境を調査する（全国で532団体、群馬県で5団体が参加）
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : アドバイザーが6名登録している新田環境みらいの会として参加



身近な水環境の調査

Ⅱ. 10月以降に予定されている27年度の環境イベントの紹介

(1) 太田市環境フェア

- ①主催者 : 太田市・太田市環境フェア実行委員会
- ②開催月日 : 11月15日(日)
- ③会場 : 太田市新田文化会館・総合体育館他
- ④イベント内容 : 環境関連の展示、実演
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 環境アドバイザーの所属団体の出展があります

(2) 第6回おおた・まちの先生見本市

- ①主催者 : おおた・まちの先生見本市実行推進委員会
- ②開催月日 : 11月29日(日)
- ③会場 : 太田市立藪塚本町小学校
- ④イベント内容 : 子供向けの環境関連の展示、体験
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 主催者の一員。また環境アドバイザーの所属の団体の出展もあります

安中地区

(安中市在住の吉澤さんからの情報です)

Ⅰ. 平成27年4月～9月までの実施済のイベント

(1) 安中市福祉ふれあいまつり2015

- ①主催者 : 福祉ふれあいまつり実行委員会, 安中市社会福祉協議会
- ②開催月日 : 9月20日(日)
- ③会場 : 安中市スポーツセンター
- ④イベント内容 : 式典, ステージや各種模擬店, バザー, 福祉関連事業等の展示
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : ふれあいまつり実行委員として、『環境学習コーナー』のブース出展や会場のごみ分別指導(地元の高校生、環境団体とともに)



福祉ふれあいまつりのごみ分別場の様子

Ⅱ. 10月以降に予定されている27年度の環境イベントの紹介

(1) マイバッグキャンペーン 店頭啓発活動

- ①主催者 : 環境アドバイザー連絡協議会 安中地区
- ②開催月日 : 11月24日(火) [予定]
- ③会場 : 安中市内スーパー, ホームセンター, ドラッグストア
- ④イベント内容 : 店頭でのマイバッグ持参の啓発活動
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : アドバイザー連絡協議会安中地区メンバ及び地元環境団体との協同実施

(2) 安中市との環境懇談会

- ①主催者 : 安中市環境推進課, 環境アドバイザー連絡協議会 安中地区
- ②開催月日 : 12月上旬〔予定〕 (年3回程度開催)
- ③会場 : 安中市環境推進課 (碓氷川クリーンセンター会議室)
- ④イベント内容 : ごみ減量等市の環境問題をテーマとした意見交換や施設見学
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : アドバイザー連絡協議会安中地区メンバ及び地元環境団体と市環境推進課が出席

渋川地区

(渋川市在住の伊藤さんからの情報です)

I. 平成27年4月～9月までの実施済のイベント

(1) 第9回渋川環境まつり

- ①主催者 : 渋川市
- ②開催月日 : 9月13日(日) 9時～14時
- ③会場 : 渋川市役所・市役所周辺駐車場
- ④イベント内容 : 3Rの推進
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 環境アドバイザーでもある群馬県地球温暖化防止活動推進員としてブース出展し、温暖化防止の啓発の展示などを行った

利根沼田地区

(沼田市在住の角田さんからの情報です)

I. 平成27年4月から9月までの実施済のイベント

(1) んまた環境ネット「定例会議」

- ①主催者 : んまた環境ネット
- ②開催月日 : 5月21日(火) , 8月18日(火)
- ③会場 : 沼田市役所東原庁舎2階会議室
- ④イベント内容 : 三役選出, 年間行事, 予算決定, 当面の課題について意見交換
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : んまた環境ネット加入団体として参加

(2) んまた環境フォーラム

- ①主催者 : 沼田市 主管: んまた環境ネット
- ②開催月日 : 6月21日(日)
- ③会場 : 沼田市保健福祉センター
- ④イベント内容 : んまた環境ネット加入団体の活動状況紹介, パネル展示、その他、映像鑑賞会, 牛乳紙パックとトイレトペーパーの交換, 古布・古着の回収等
- ⑤環境アドバイザーの関わり方 : んまた環境ネット役員として、環境アドバイザーが会長, 副会長を務めている



**沼田環境フォーラムにて
手回し発電機を使って発電中の親子**

(3) 群馬県地域環境学習推進事業

- ①主催者 : 群馬県環境アドバイザー利根沼田連絡協議会
 - ②開催月日 : 9月17日(木)
 - ③会場 : 間伐作業現場(昭和村), 電中研究所赤城試験センター, 赤城自然園
 - ④イベント内容 : 森林資源の保全と活用策を学ぶ
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方 : アドバイザー主催 県から受託. 参加者を募って実施
- (4) 節電効果のあるグリーンカーテンづくりの推奨並びに成果の展示
- ①主催者 : 沼田市(環境課環境係)
 - ②開催月日 : ゴーヤーの苗木などの無料配布(5月10日),
成果報告展(9月24日~10月2日)
 - ③会場 : 沼田市役所 1階市民ホール
 - ④イベント内容 : 地球温暖化対策の取り組みを地域で進める
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 直接の関わりはないが市民の立場で事業に参加

II. 10月以降に予定されている27年度の環境イベントの紹介

- (1) 買い物にやさしいスタイル普及促進キャンペーン
- ①主催者 : 当協議会と利根沼田明るい社会づくりとの会共催
 - ②開催月日 : 11月~12月に開催予定(県を通じて店舗と実施日調整中)
 - ③会場 : 沼田市内小売店(数カ所)
 - ④イベント内容 : 店頭でのマイバッグ持参の啓発活動
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 当協議会と地域団体の共同実施
- (2) 利根沼田地区環境と森と木の祭り
- ①主催者 : 森と木の祭り利根沼田地区実行委員会
 - ②開催月日 : 11月3日(祝日)
 - ③会場 : みなかみ町月夜野「瀬親水公園」
 - ④イベント内容 : 環境保全の大切さと森林・林業の役割やすばらしさを広く県民にアピールし、利根沼田地区における環境保全の推進と森林・林業の振興に寄与することなどを目的に、木工品などの展示即売会、体験教室、森林クイズなど
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 実行委員会に出席すると共に出展参加
- (3) 地球温暖化防止月間「標語・ポスター入選者表彰式」&「講演会」
- ①主催者 : 沼田市
 - ②開催月日 : 12月5日(土)
 - ③会場 : 沼田市中心公民館
 - ④イベント内容 : 標語・ポスターの入選者を表彰, 講演会
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方 : 直接の関わりはないが、個人の立場で標語・ポスター応募, 講演会出席
- (4) 第20回ごったくまつり・ボランティアフェスタぬまた
- ①主催者 : 沼田市ボランティア連絡協議会
 - ②開催月日 : 12月6日(日) 10時~16時

- ③会 場：沼田市保健福祉センター
 - ④イベント内容：地域で活動する団体や個人の活動発表・交流の場として、出店・パネルやペレットストーブの展示, 抽選会, 交流会, スタンプラリーなどを予定
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方：沼田市ボランティア連絡協議会の一員として、実行委員会への出席と出展参加
- (5) んまた環境ネット機関紙発行作業
- ①主催者：んまた環境ネット
 - ②開催月日：1月～3月
 - ③会 場：沼田市役所東原庁舎
 - ④作業内容：第6号（平成28年3月発行）の編集
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザーメンバ2名が編集委員を務めている

高崎地区

（高崎市在住の原田さんからの情報です）

I. 平成27年4月から9月までの実施済のイベント

- (1) 井野川の浄化活動
 - ①主催者：環境アドバイザー高崎地区会
 - ②開催月日：6月12日, 7月6日, 9月11日
 - ③会 場：高崎市内小八木橋～辻貝戸橋
 - ④作業内容：河川の除草、ごみ拾い
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催で通年活動として実施。一般市民の方の参加も呼びかけ
- (2) 地域環境学習事業
 - ①主催者：環境アドバイザー高崎地区会
 - ②開催月日：7月25日…水棲生物の調査・観察
8月3日……川辺の植物観察
 - ③会 場：井野川（浜川公園東側）
 - ④イベント内容：県の受託で、地域環境学習として水棲生物, 植物の調査・観察
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催で一般市民の方に参加を呼びかけ
- (3) 環境フェア
 - ①主催者：高崎市
 - ②開催日時：6月6日
 - ③会 場：もてなし広場、総合保健センター
 - ⑤環境アドバイザーの関わり方：市パートナーシップ協議会メンバーとして参加
- (4) エコウォーク
 - ①主催者：環境アドバイザー高崎地区会
 - ②③④開催月日と会場、内容：

4月2日…春のエコウォーク（吉井のカタクリの群生地と七興山古墳の桜）

9月25日…町中、秋のエコウォークと清掃活動（高崎市街地）

⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催で一般市民の方に参加を呼びかけ

（5）竹の子掘りと竹林の整備

①主催者：環境アドバイザー高崎地区会

②③④開催月日と会場、内容：

5月14日…竹の子掘り（吉井町奥平）

6月、7月…竹林の整備（同上）

⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催で一般市民の方に参加を呼びかけ

Ⅱ. 10月以降に予定されている27年度の環境イベントの紹介

（1）井野川の浄化活動

①主催者：環境アドバイザー高崎地区会

②開催月日：11月6日、12月7日、1月24日、3月14日

③会場：高崎市内大井野川橋～大八木橋、大八木橋～小八木橋他

④作業内容：河川の除草、ごみ拾い

⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催で通年活動として実施。一般市民の方の参加も呼びかけ。1月24日は中学校との共催

（2）町中の環境とビルの観察・清掃

①主催者：環境アドバイザー高崎地区会

②開催月日：11月27日

③会場：市街地

④イベント内容：町中の環境とビルを観察し、合わせてごみ拾いも行う

⑤環境アドバイザーの関わり方：環境アドバイザー高崎地区会主催

（3）NPOボランティア祭

①主催者：高崎市

②開催日時：平成28年2月27日

③会場：市民活動センター（ソシアス）

⑤環境アドバイザーの関わり方：市内ボランティア団体として参加

（4）サケの稚魚放流会と環境学習

①主催者：JCI 高崎青年会議所、環境アドバイザー高崎地区会

②開催日時：平成28年3月5日（予定）

③会場：高崎市内和田橋の下土手階段

⑤環境アドバイザーの関わり方：主催者として一般市民の方の参加も呼びかけ